



# とらいあんぐる



2015 年 9 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「出不精」

一音会について、よくいただく質問があります。

それは、「一音会はどうして、椎名町という駅周辺にしかないのですか？」です。

教室という性質上、ターミナルといわれる場所、いろいろな電車が乗り入れている、多くの方にとって便利な場所にあったほうが良いことは確かです。

便利な場所というのは、よく知られた場所であり、分かりやすい場所でもあります。

あらゆる意味で、椎名町はその対極

にあるかもしれません。

よくある問い合わせのお電話を再現してみます。問い合わせの方を「問」、一音会を「⊖」とします。

### 問「お教室、どのへんですか？」

⊖「しいなまち、という駅のですね……」

### 問「え？ なんですって？」

⊖「しいなまちという駅がありまして……」

### 問「……しのまち？」

⊖「いいえ、し・い・な・ま・ち」

### 問「信濃町ですよ？」

⊖「いえ、ちがうんです。し・い・な・ま・ち」

問「えっと、し・い・な・ま・ち？」

⊖「そうです！」

問「東京ですよ？」

⊖「そうですが」

問「きいたことない駅です」

⊖「池袋、ご存知ですか？」

問「それなら、知っています」

⊖「池袋から、西武池袋線という線が出ています」

問「・・・あ、ハイ・・・(メモをとっている様子)」

⊖「それに乗って一駅目がですね。し・い・な・ま・ち・です」

問「し・い・な・ま・ち・・・？」

⊖「そうです。そうです！」



こんなこともあります。

問「住所でいうと、どこになります？」

⊖「豊島区ですね・・・」

問「ああ、としまく・・・としまえんのある？」

⊖「えっと、としまえんは豊島区じゃないんです」

問「えっ！そうなんですか！ としまえんなら、行ったことあるんですが・・・関係ないんですか？ なんか、ややこしいですね」

⊖「すみません・・・」

問「いえ、いえ、としまえんの件はおたくのせいじゃないでしょう？」

⊖「ですよ」

問「それで・・・」

⊖「長崎・・・」

問「あれ？ 長崎県じゃないですよ？」

⊖「豊島区ですから・・・」

問「長崎の漢字は、長崎県の長崎？」

⊖「そうです」

問「東京に、そういう地名があるんですか！ また、ややこしいですね」

⊖「すみません。ほんとに・・・」

こんな具合です。

駅だけでなく地名も、知名度がありません。最後まで、分かっていたか、不安が残ります。

教室がいくつかありながら、全部、近くに密集していることにも、よく疑問をいだかれます。

かつて、ある出版社の社長さんと母が話していた会話を、再現してみます。

社長さんを「社」とします。

**社「先生、教室をいくつか作るなら、少し離れたらどうですか？」**

**母「そうですかねえ・・・」**

**社「1つ、豊島区に作ったら、2つ目は横浜とか・・・大宮とか・・・船橋とか・・・。だって、新しい地域を開拓できるでしょう？それがビジネスってものじゃないですか？」**

**母「あんまり、そういうこと、考えたことないですねえ・・・」**

**社「先生が商売にあまり熱心じゃないってことは、よく知っています。でもね、生徒さん目線でも、実際、**

**便利な人が増えるわけでしょう？」**

**母「そうかもしれないですねえ・・・」**

**社「それを何ですか、こんな誰も知らないような駅に何軒も、くっつけて建てちゃって」**



簡単な話なのです。

母の行動範囲が極端に狭かったからなのです。

もちろん障害者となって、車椅子生活になってからは、行けるところはもっぱら、自宅から歩いて行ける範囲に限られていました。

多くの方は、そのことを気の毒がってくださいました。

では母は、遠くに行くことができず、不幸だったのか？

幸いにして、私は知っています。母は少なくとも、その点に関して、不幸ではありませんでした。

母は、遠くに行くことが好きではない人だったのです。

本人も、いっていたことですから、間違いありません。

「お母さんね、ここだけの話、知らないところに行くのが嫌い。だから旅行も嫌い。知らないところに行くと、その間、ずっと不安と緊張で、落ち着かないの。椎名町の駅のホームに立つでしょ？ そうするとね、もう家に帰りたくなっちゃうの」

母は、生涯、東京以外の場所に住むことがありませんでした。子ども時代は、文京区本郷に、おとなになってからは、ずっと椎名町です。

旅行らしい旅行は、ほとんど行ったことがないと、よくいっていました。

母が行ったことがある場所で、一番南は、伊豆でした。

大学生の時、しぶしぶなのを、友人にひきずられるように連れていかれた旅行先です。

その際、旅行というものが分かっていない母は、同行する友人たちが、登山靴にリュックを背負っているのに対し、ワンピースにハイヒール、小さなハンドバッグだけを持って待ち合わせ場所にあらわれ、友人に大笑いされたというエピソードを持っています。

最北は、茨城県でした。疎開先だそうです。

そういう話に疎開先を含めてしまうのは、どうかと思うのですが、最北は最北です。

どれだけ狭い範囲で生きてきたか、お分かりいただけだと思います。

母は、遠くに行くことのないまま、人生を終えましたが、それ自体はそう不幸なことではなかったと、私は思っています。

なぜなら、私にもまったく同じ血が流れており、口では人並みに、「旅行、いいわね」などといいながら、本心では家を一步も出たくないからです。

家の近所に教室を並べてしまった母の気持ちが、実はよく分かるのです。

(江口 彩子)

## ◆ピアノ発表会が、無事終わりました

7月30日から4日間にわたっておこなわれた「ピアノ発表会」が、無事、終わりました。お天気に恵まれたかわりに、猛暑の4日間でした。厳しい暑さの中、大勢の方にご参加いただきましたことに、改めて御礼申し上げます。

大きな事故もなく、無事にすべての日程を終えることができましたのも、生徒さんやご家族のみなさまの、多大なご協力あってのことでした。本当にありがとうございました。

思うような発表ができた生徒さん、ちょっと悔しい思いをした生徒さん、いろいろな思い出が刻まれたことと思いますが、そのすべてが、これからの成長の糧です。発表会の経験をバネに、また1年、大きく成長されることを期待しています。

スタッフ一同も、また新しいスタートを切るつもりで、気持ちを引き締めて、指導にあたらせていただきます。

来年の「ピアノ発表会」は、「かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール」です。2016年7月28日、29日、30日、31日の4日間を予定しています。その舞台には、今年よりさらに大きくなられ、さらに上手になられた生徒さんが、上がることになるでしょう。楽しみです。



## ◆「ピアノ・トライ」の予定をお知らせします

例年、発表会后、最初に来る大きなイベントは、「ピアノ・トライ」です。

しかし、すでにお知らせしましたように、今年度は、「ピアノ・トライ」を、1月におこなう予定です。大きな理由としましては、今年度は12月に「音楽祭」という大きなイベントをひかえ、時期が重ならないようにするためです。

ちなみに、副科の発表会である「フォルテの会」は、「ピアノ・トライ」と「ル・コンセール」がすべて終了した、2月11日（祝）におこないます。

「ピアノ・トライ」に関しましては、いつもよりお知らせ時期がはやいですが、例年と時期が異なることから、以下に「ピアノ・トライ」の詳細をお知らせします。

### (1) 電話申込み

12月2日（水）

12月5日（土）

※両日とも朝 10:00～夕方 16:00 までの受付です。各日先着順とさせていただきます。

### (2) 日程 （全て「バッハはうす」でおこないます）

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ① 1月10日（日②）      | 初級・中級（夏目先生予定） |
| ② 1月11日（月・祝）     | 初級・中級（能勢先生予定） |
| ③ 1月16日（土 1・3）   | 初級・中級（山本先生予定） |
| ④ 1月17日（日①）      | 中級～（夏目先生予定）   |
| ⑤ 1月23日（土 2・4）   | 初級・中級（山本先生予定） |
| ⑥ 1月31日（日）レッスンなし | 中級～（夏目先生予定）   |

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいて大丈夫です。進度の大きく異なるご兄弟を、同じ日の時間帯にお組みすることもできます。

### (3) 参加費

2160円

※ 当日、封筒に記名し、なるべくおつりの無いようにお持ちください。

#### (4) 課題曲

バッハの作品、もしくはエチュード。

ただし、絵音符の生徒さん、まだ五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。

「ル・コンセール」は、1回目を2016年1月24日（日）に、2回目を2月7日（日）に予定しています。

例年の日程ですと、発表会后、曲を準備する期間が十分ではありませんでしたが、今年度の日程では、発表会の約半年後にあたり、夏に「ピアノ発表会」、冬に「ピアノ・トライ」と、発表の機会としてはバランスが良くなったと思います。これまで、ご参加がかなわなかった生徒さんも、今年度、ぜひ挑戦なさってください。

#### ◆「音楽の集い」を開きます

今年も11月3日（祝）に、「音楽の集い」を開きます。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。会場は「ひびきホール」です。時間等、詳細は、教室内のポスターで、お知らせする予定です。

例年、一音会では、「文化の日」を、音楽を心から愛する方々が集う日としています。ぜひふるってご参加ください。演奏される方は参加費として、6000円（予定）をご負担いただきます。（DVD希望の場合は1080円追加）入場無料ですので、お気軽に足をお運びください。

基本的にはピアノの発表会ですが、歌や他の楽器でのご参加も大歓迎です。また、一音会でレッスンをお受けになっている方だけでなく、一音会にお通いの生徒さんのご家族さまも、ご出演可能です。伴奏者が必要であれば、スタッフが伴奏いたしますので、ご遠慮なく本部までご相談ください（担当者：普久原・森田）。



## ◆プラグゲ先生が来日します

11月に、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学教授、ロルフ・プラグゲ先生が来日されます。コンサートを開くとともに、一音会でレッスンをさせていただきます。

プラグゲ先生のプロフィールは下記の通りです。



**Rolf Plagge**

- フライブルグ、ウィーン、ニューヨーク、ハノーファーの各音楽大学で、V.マルグリス、P.バドゥラ＝スコダ、G.シャンドール、K.H.ケマリングに師事。
- チャイコフスキー、エリザベート、ブゾーニ、ミュンヘン、ボン、ソルトレーク等、主要な国際コンクールに上位入賞を果たす。
- ドイツ、オーストリア国内はもとより、フランス、ベルギー、ポーランド、ロシア、アメリカ、イスラエル、メキシコ等各国のオーケストラと共演。
- 1988年よりヴォルフガング・マンツと、ピアノ・デュオ“王妃エリザベート”を結成しアンサンブル活動にも力を入れる。
- ドイツ、オーストリア、フランス、ベルギー、ロシア等の各地での国際コンクール審査員を務める。

たいへん高名な先生ですが、今回、一音会の生徒さんにかぎり、レッスンを受けることができます。

レッスン日は、11月4日（水）、5日（木）です。場所は「ひびきホール」。

レッスン料金は下記の通りです。

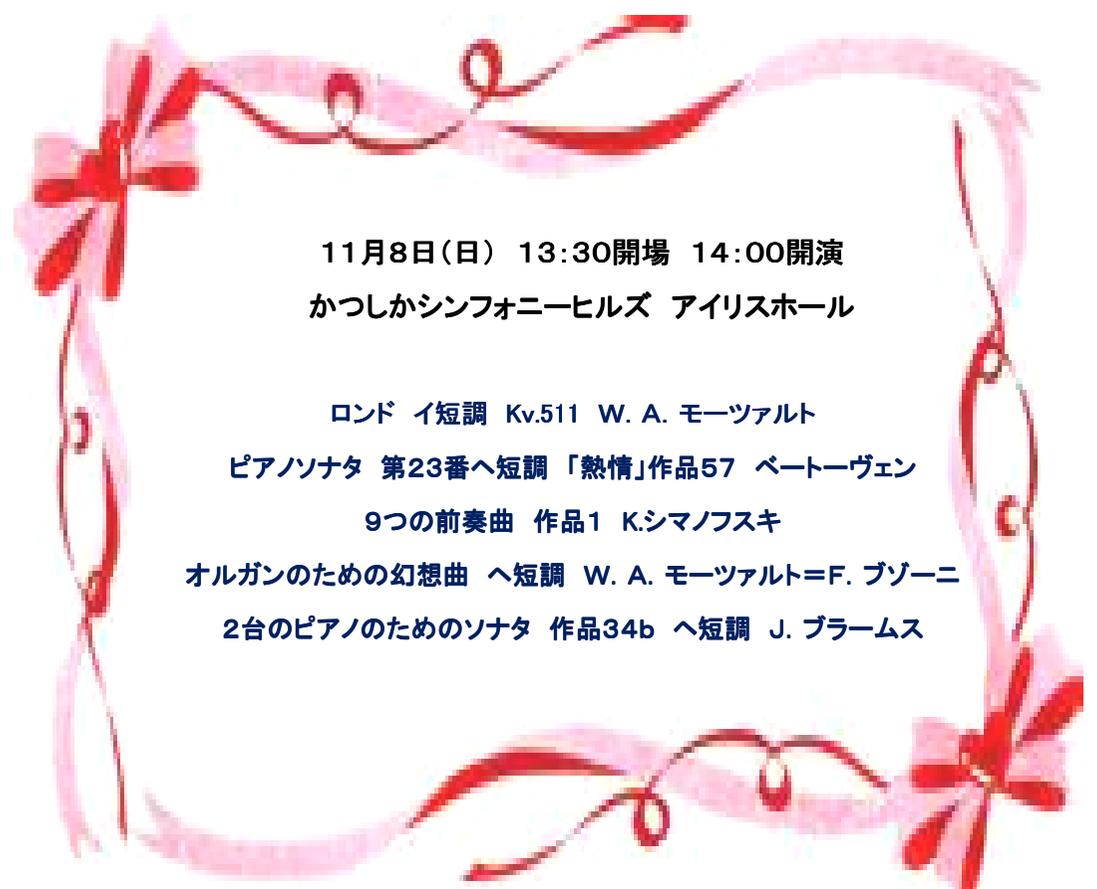
30分レッスン……レッスン料（12,500円）+通訳（2,500円）→15,000円

60分レッスン……レッスン料（25,000円）+通訳（5,000円）→30,000円

30分、60分のほかに、45分、90分レッスンをお組みすることも可能です。ご希望の方は、お申し込み順でお組みしていきますので、お早めに本部までお電話にてお申し込みください。【03-5966-7711：担当・谷口】。

レッスンは基本的にはドイツ語です。通訳を希望される場合は、松山優香先生が通訳に入ります。英語でのレッスンも可能です。ご希望の場合はお申し込みの際にお知らせください。

プラグゲ先生のコンサートは下記の通りです。先着の方に招待券をプレゼントします。招待券は数に限りがございますので、お早めにお申し込みください。



11月8日(日) 13:30開場 14:00開演  
かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

ロンド イ短調 Kv.511 W. A. モーツァルト  
ピアノソナタ 第23番へ短調 「熱情」作品57 ベートーヴェン  
9つの前奏曲 作品1 K.シマノフスキ  
オルガンのための幻想曲 へ短調 W. A. モーツァルト=F. ブゾーニ  
2台のピアノのためのソナタ 作品34b へ短調 J. ブラームス

#### ◆ 「音楽祭」をおこないます

12月23日(祝)、葛飾区かめありリリオホールにて、「音楽祭」を開きます。一音会で「音楽祭」を開くのは、3年ぶりになります。

「音楽祭」では、リトミックのレッスンを受けていらっしゃる生徒さんのオペレッタ発表をおこないます。オペレッタとは、「小さなオペラ」という意味で、歌や動きで、物語を演じていくものです。

リトミックのレッスンを受けていらっしゃる生徒さんは、原則的に、全員ご出演ください。そろそろ、リトミックのレッスンの中で、練習がスタートしますが、歌や動きは、日ごろのリトミックで学んでいることを生かし、さらに学習を深めるものです。演目のDVDをご用意いたしますので、ぜひおうちでもご覧になって、練習してみてください

ください。

うたくらぶの生徒さんは、「ドレミの歌」の合唱にご出演ください。もし、うたくらぶの生徒さん以外で、合唱にご参加くださる生徒さんがいらしたら、歓迎します。うたくらぶのレッスン時間に、「ドレミの歌」を練習しています。うたくらぶにいらっしゃることで練習を兼ねることができます。ご興味がおありの方は、ぜひご検討ください（くわしくは、別プリントをご用意していますので、ごらんください）。

「ショパンはうす」受付前で、時々、過去の演目を上映しておりますので、ぜひご覧ください。とても楽しい舞台になります。

「音楽祭のお知らせ」は現在作成中です。後日、生徒さん全員にお配りいたします。



## ◆音楽祭オーディションをおこないました

8月30日（日）に、音楽祭の演目「しらゆきひめ」のオーディションをおこないました。「しらゆきひめ」は、唯一、有志による演目です。

あいにくの雨模様の中でしたが、多くの生徒さんが、足をお運びくださり、おうちで練習してきた歌やセリフを披露してくださいました。

緊張の中、みなさん、とても立派な発表でした。熱演に、審査員のスタッフ一同、胸があつくなりました。追って、合格者をお知らせいたします。



## 音楽祭「しらゆきひめ」より

すでに主要な役は決まりつつありますが、動物さんの役にかぎり、まだ数人の余裕があります。「しらゆきひめ」にご興味のある生徒さんは、勇気を出して、参加してみませんか？リトミックのレッスンをお受けになっていない生徒さんでも、参加できます。

「しらゆきひめ」のレッスンは、9月13日（日）より、スタートしますが、動物さん希望者は、9月いっぱい受け付けます。

動物さんのオーディションは、「しらゆきひめ」のレッスン内でおこないます。ご希望の方は、事前に本部にご連絡ください〔03-5966-7711〕。オーディション（「しらゆきひめ」レッスン）の日時を、ご案内いたします。

「しらゆきひめ」のレッスンは、11回予定していますが、すべて無料です。

### ◆「江口メソード・セミナー」を開きます

7月17日に、愛知県豊橋市で、「江口メソード・セミナー」を開きました。当日は、台風がとなりをすり抜ける悪天候の中でしたが、約70人もの、ピアノの先生がお集まりくださり、熱心に受講してくださいました。

今秋も、「江口メソード・セミナー」を開きます。千葉県佐倉市の伊藤楽器店で、3回シリーズでおこないます。

第1回目：10月20日（火）「絶対音感とは？どうしたら身につけられる？」

第2回目：11月17日（火）「相対音感：上達するメロディー聴音は楽しい！」

第3回目：12月15日（火）「読譜：楽しく、やさしく、簡単に音符が読める！」

お問い合わせ先：伊藤楽器 白井センター（043-462-4000）



\*\*\*\*\*

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[1000@ichionkai.co.jp](mailto:1000@ichionkai.co.jp)      電話：03-3954-9999

- \* お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。
- \* ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。